

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設 (交通施設：広戸17号線道路改良舗装工事) 整備事業							
補助事業者名	津山市長							
実施場所	津山市市場地内							
補助事業の成果の目標	本路線は、道路舗装に沈下、クラックが発生しており、歩行者や車両の安全な通行に支障をきたしている。 このため、本路線の改良舗装工事を行うことにより、歩行者や車両の安全な通行を確保し、地域住民の生活環境の改善を図る。							
補助事業の内容	実施設計 一式、改良工事 一式、舗装工事 一式							
補助事業の始期及び終期	令和2年度～令和3年度							
事業費及び交付金額		2年度	3年度	年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円 5,763,373	円 3,757,818	円	円	円	円	円 9,521,191
	交付金額	円 5,763,000	円 3,757,000	円	円	円	円	円 9,520,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本件道路改良舗装工事を実施した結果、車両及び歩行者の安全な通行の確保ができた。また、事業完了後に行った地域住民へのアンケート調査を実施した結果、円滑な通行の確保ができたことで、生活環境が改善されたとの評価を得た。本事業が防衛省の交付金事業であることは、施工中の工事看板及びアンケート用紙に交付金事業である旨を記載したことにより、地域住民への周知を図ることができた。							
事業の改善措置及び今後の対応	地元住民の要望に応えられるよう引き続き連絡を密にしながら維持管理を進めていく。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設 (交通施設：広戸38号線道路改良舗装工事) 整備事業							
補助事業者名	津山市長							
実施場所	津山市大吉地内							
補助事業の成果の目標	本路線は、幅員が狭く、対向車との円滑な離合が困難であるとともに、歩行者の安全な通行に支障をきたしているところである。 このため、本路線の拡幅改良舗装工事を行うことにより、対向車との離合困難を解消し、歩行者の安全な通行を確保することで、地域住民の生活環境の改善を図る。							
補助事業の内容	路線測量 一式、実施設計 一式、改良工事 一式 舗装工事 一式、用地補償費 一式							
補助事業の始期及び終期	平成18年度～令和3年度							
事業費及び交付金額		28年度 まで	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	計
	事業費	56,050,916 円	10,087,196 円	0 円	10,378,481 円	7,187,421 円	1,539,850 円	85,243,864 円
	交付金額	55,855,000 円	10,069,000 円	0 円	10,378,000 円	7,137,000 円	1,539,000 円	84,978,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本件道路改良舗装工事により狭隘であった本路線の拡幅を行い、車両の離合困難解消及び歩行者の安全な通行の確保ができた。また、事業完了後に行った地域住民へのアンケート調査を実施した結果、離合困難解消及び円滑な通行の確保ができたことで、生活環境が改善されたとの評価を得た。本事業が防衛省の交付金事業であることは、施工中の工事看板及びアンケート用紙に交付金事業である旨を記載したことにより、地域住民への周知を図ることができた。							
事業の改善措置及び今後の対応	地元住民の要望に応えられるよう引き続き連絡を密にしながら維持管理を進めていく。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。